



樹を学ぶ 樹に学ぶ

《自主企画講座》『葉や木の実で調べる樹の名前（パート2）』

『松戸の《樹》を訪ねる散歩～初秋編』

都心からそう遠くない位置にありながら、まだまだ緑豊かな松戸市。そんな松戸の特徴を生かした講座を二つ紹介します。

一つは、千葉大みどりの会による『葉や木の実で調べる樹の名前（パート2）』、もう一つは、樹の会による『松戸の《樹》を訪ねる散歩～初秋編』です。

『葉や木の実で調べる樹の名前（パート2）』は、千葉大学園芸学部を会場に、千葉大みどりの会が実施する講座です。樹木の名前を知る方法を学び、樹木についての知識を増やし、樹木への関心を高めていくことをめざしています。講師に、千葉大学園芸学部研究科 准教授 百原 新 氏をお招きし、樹木の観察や実習など、フィールドワークを中心に全2回の講座を開催しました。



生涯学習推進課では、松戸の自然や歴史に関する様々な講座を開設して皆様の参加をお待ちしています。（講座の詳細等は、広報まつど等をご参照ください）

『松戸の《樹》を訪ねる散歩～初秋編』は、生涯学習専攻科修了生が、研究成果を多くの市民に紹介することにより、みどりの大切さや地域の魅力を認識・発見してもらうことをねらいとした講座です。神社仏閣や古木の残る御宅、公園等を散策しながら、由緒ある樹木を見上げ古木が見てきた歴史に思いをはせます。樹木医の真嶋 好博氏 千葉大学園芸学部非常勤講師 松崎 喬 氏及び樹の会の会員を講師に全3回の講座を開催しました。